



# 榎戸の丘

第2号

令和7年3月1日

## 校歌

作詞 校歌制作委員会  
作曲 大友 良英

一 空の青さに 陽の光

榎戸の丘 一瞬の風

力漲り 舞う砂けむり

現在を生きる これからの人

創ろう未来 つなごう心

いつの日か 遙かな夢を ほんとの空に

二 白く聳える 故郷の

安達太良山の 季節の雲

掌見つめ 昔を食いしばり

現在を生きる これからの人

創ろう未来 つなごう心

いつの日か 明日を探して ほんとの空に

三 瞳に映る 煌めきは

阿武隈川の 悠久の色

その身に宿る 手業の実り

現在を生きる これからの人

創ろう未来 つなごう心

いつの日か 希望を胸に ほんとの空に

四 睡蓮の花 微笑んで

霞が池に 青春の影

まっすぐな道 どこまでも往き

現在を生きる これからの人

創ろう未来 つなごう心

いつの日か 生きた証を ほんとの空に

発行所 福島県立二本松実業高等学校同窓会  
〒964-0937  
福島県二本松市榎戸 1丁目58-2  
TEL 0243-23-0960  
FAX 0243-22-7388  
発行者 山川博徳  
印刷 キング印刷株式会社  
発行部数 600部

|              |   |
|--------------|---|
| 同窓会会長挨拶／総会報告 | 2 |
| 学校長挨拶／新会員の言葉 | 3 |
| 部活動紹介        | 4 |
| 進路状況         | 5 |
| 特集（安達東校舎閉校）  | 6 |
| 同級生コラムリレー    | 7 |
| 編集後記         | 8 |

# 同窓会会長挨拶



山川 博徳

## プロフィール

- ◆本市出身、現在は二本松市在住
- ◆福島県立二本松工業高等学校土木科卒業（第十六期生）
- ◆日本大学 法学部 政治経済学科卒業
- ◆現在、菅野建設工業株式会社 取締役副社長
- ◆趣味（ウォーキング、読書、書道、社寺・城巡り）

春の日差しが煌めく季節の候、同窓会員の皆様におかれましては、日頃より御支援を賜り心より御礼を申し上げます。本校も令和五年四月に開校以来、もう少しして二年を迎えようとしています。そしてこの年度卒業される一〇四名の生徒の皆様は旧高校名にて入学し実業高校名で卒業される最後の卒業生であり、歴史の転換期に名を残すこととなります。同窓会としても新たな同志が増えることになり、心強くまた楽しみにしております。改めて新社会人となる卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。今後は、一万六千名を超える本校同窓生の先輩方が社会の各方面で応援をさせていただきます。

そして、在校生や関係各位の努力の甲斐あって、スポーツ分野ではハンマー投等の陸上競技・各種カヌー競技・柔道の各大会で優秀な成績を残しております。また、学芸分野においても、測量競技や演劇コンクールの上演部門で優秀賞等を受賞しており、正に文武両道の素晴らしい結果を出して頂いております。同窓会としては奨励金等を贈呈し、少しでも在校生や母校に対しお役に立てばと鋭意活動をして頂いております。しかしながら、近年における少子化や過疎化の急激な進行による生徒確保等の課題もあり、本校を取り巻く環境は決して容易ではありませんが、同窓会としても創立精神を継承しながら、運営基盤の確立や地域社会への情報発信の在り方等熟考していきたいと考えております。また、これからは時代の風潮や社会の動向も見据えながら、同窓会設立当初の目的達成に向けて会員の皆様、地域の皆様と心を一つにして日々精進を図って参りたいと考えております。結びに、福島県立二本松実業高等学校の更なる発展を祈念するとともに同窓会会員各位の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます、御挨拶に代えさせていただきます。

## 総会報告

令和六年度福島県立二本松実業高等学校同窓会総会が、令和六年五月十八日（土）に二本松市市民交流センターにて、川島孝夫校長・佐藤正道前校長のご臨席を賜り開催されました。

議長に茂木安久氏（昭和五十五年二本松工業機械科卒が指名され終始和やかなムードの中、円卓な議事進行がされました。川島校長の挨拶では、各奨励金の贈呈についてのお礼を述べられてから、在校生の活躍について紹介があり、資格取得や部活動、モノづくり大会などにおいて好成績を挙げていること、また同窓生の尽力のおかげで進路内定率が百パーセント達成できたことなどの話がありました。

次に議事に入り、第一号議案 令和五年度事業報告、第二号議案 令和五年度決算報告並びに会計監査報告、第三号議案 令和六年度事業計画、第四号議案 令和六年度予算計画すべて満場一致にて原案通り可決されました。

総会後の懇親会は場所をアーバンホテルに移し教職員、同窓会役員、同窓生多数の参加をいただき盛大に開催されました。今後は職場の先輩後輩、あるいは友人同士で声を掛け合い、また二本松実業高等学校ホームページ内、同窓会バナーにお知らせ掲載で多数の同窓生のご参加をお願いするとさせていただきます。

## 令和六年度 同窓会事業計画

| 月      | 事業                                  | 期 日       | 会場                      |
|--------|-------------------------------------|-----------|-------------------------|
| 令和6年4月 | 第2回入学式                              | 4月9日（火）   | 本校舎                     |
|        | 第1回 三役・事務局合同会議                      | 4月27日（土）  | 本校舎                     |
|        | 令和5年度同窓会会計監査                        | 5月18日（土）  | 二本松市市民交流センター<br>アーバンホテル |
|        | 同窓会 理事会・総会                          | 8月22日（木）  | 本校舎                     |
| 5月     | 同窓会 懇親会                             | 9月6日（金）   | 二本松文化センター               |
| 8月     | 第2回 三役・事務局合同会議                      | 10月11日（金） | 二本松文化センター               |
| 9月     | 第1回 会報委員会                           | 11月22日（金） | 二本松文化センター               |
| 10月    | 第2回 会報委員会                           | 11月～12月予定 | 二本松文化センター               |
| 11月    | 第3回 会報委員会                           | 12月20日（金） | 二本松文化センター               |
| 令和7年1月 | 同窓会役員選考委員会                          | 1月10日（金）  | 本校舎                     |
|        | 第4回 会報委員会                           | 1月24日（金）  | 二本松文化センター               |
|        | 第3回 三役・事務局合同会議                      | 1月下旬      | 本校舎／安達東校舎               |
|        | 同窓会会則説明・クラス幹事推薦依頼<br>個人情報保護説明・同意書配布 |           |                         |
| 2月     | 第6回 会報委員会                           | 2月21日（金）  | 二本松文化センター               |
|        | 第2回 同窓会入会式                          | 2月28日（金）  | 本校舎／安達東校舎               |
| 3月     | 第2回 卒業証書授与式<br>同窓会会報 第2号発行          | 3月1日（土）   | 本校舎／安達東校舎               |

※ 奨励金贈呈式 随時

## 令和6年度～令和7年度 福島県立二本松実業高等学校 同窓会役員名簿

| 役 職   | 氏 名   | 所属    | 任期   |
|-------|-------|-------|------|
| 会 長   | 山川 博徳 | 二本松工業 | S.55 |
| 副 会 長 | 菅野 哲雄 | 安達東   | S.56 |
| 副 会 長 | 鈴木 新栄 | 二本松工業 | S.57 |
| 副 会 長 | 鈴木 朝裕 | 二本松工業 | S.57 |
| 会 計   | 小沢源太郎 | 二本松工業 | S.60 |
| 監 事   | 金子 智弘 | 二本松工業 | S.60 |
| 監 事   | 高橋 周平 | 二本松工業 | H.5  |
| 監 事   | 根本 智  | 安達東   | H.20 |
| 事務局次長 | 石川 清徳 | 二本松工業 | H.10 |
| 理 事   | 茂木 安久 | 二本松工業 | S.55 |
| 理 事   | 大内 正勝 | 安達東   | S.61 |
| 理 事   | 齋藤 誠  | 安達東   | H.4  |
| 理 事   | 渡邊 喜春 | 二本松工業 | H.10 |
| 理 事   | 菅野 健太 | 二本松工業 | H.12 |
| 理 事   | 三浦 亮  | 安達東   | H.17 |
| 理 事   | 大内 香  | 二本松工業 | H.26 |
| 理 事   | 鈴木 大智 | 二本松工業 | H.27 |
| 理 事   | 安達 朱里 | 二本松工業 | H.27 |
| 理 事   | 三浦 優華 | 二本松工業 | H.27 |

### 役員選考委員会

|         |       |
|---------|-------|
| 委 員 長   | 鈴木 新栄 |
| 副 委 員 長 | 菅野 哲雄 |
| 委 員     | 金子 智弘 |
| 委 員     | 根本 智  |
| 委 員     | 齋藤 誠  |
| 委 員     | 高橋 周平 |
| 委 員     | 石川 清徳 |

### 会報委員会

|         |       |
|---------|-------|
| 委 員 長   | 鈴木 朝裕 |
| 副 委 員 長 | 茂木 安久 |
| 委 員     | 三浦 亮  |
| 委 員     | 大内 正勝 |
| 委 員     | 渡邊 喜春 |
| 委 員     | 菅野 健太 |
| 委 員     | 大内 香  |
| 委 員     | 鈴木 大智 |
| 委 員     | 安達 朱里 |
| 委 員     | 三浦 優華 |

# 学校長挨拶



川島 孝夫

「歴史を引き継いで」

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。今年度、五月に開催されました同窓会総会では、赴任したばかりでありましたが、皆様に直接お会いし二本松工業高校や安達東高校の歴史を伺うことができ、生徒を支えてくださる皆様の存在の大きさを感じ、大変有難く心強く思いました。心より感謝申し上げます。

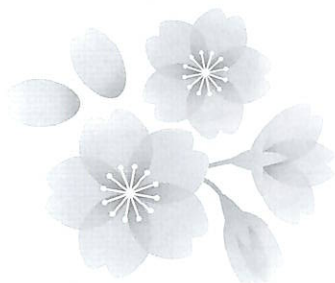
今年度も各種大会や資格取得、コンテストにおいて、本校の生徒が大きな成果を上げましたので、主なものについて紹介させていただきます。

部活動では、全国高校総合体育大会（インターハイ）に、安達東校舎の陸上競技部、本校舎のカヌー部が出場しました。また、柔道部、演劇同好会が東北大会出場を果たしました。資格取得では、二級土木施工管理技士補に過去最高の合格率（八三・三％）を達成することができました。コンテストでは、福島県高校生ものづくり

コンテスト電気工事部門で見事優勝を果たしました。

全校生が一堂に会する場面において、生徒達には「夢や目標の実現のため努力しよう」と話しています。自分の立てた目標に対し興味を持ち続け、前向きに取り組み、困難や挫折を味わってもあきらめずに努力を続けた結果が、素晴らしい成績を取めることに繋がったのだと思います。また、「明るい挨拶をし、優しい気持ちを持つよう。」「健康第一、心身共に健康維持に努めよう。」という話もしてまいりました。人に優しく接し友達を大切に、元気に登校できる生徒を育てるため、教職員一丸となり指導に当たってまいりたいと考えておりますので、引き続きご指導・ご支援をお願いいたします。

最後に、同窓会の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



## 「最後の松工生」

二本松実業高等学校本校舎



生徒会長  
大槻 柴音

私たちは、令和四年四月に最後の二本松工業高校生として入学をしました。今、この三年間を振り返ると、たくさんの方々の支援があつてこそだと感じています。私たちの学年は先輩方と比べても全体人数が少なく、そしてまだ新型コロナウイルスの影響が残っており制限のある学校生活でした。ですがそんなことも忘れるような、濃い時間を過ごすことができました。招待人数を制限しつつ行うことができた一年次の文化祭、各クラスまだ少しきこえない雰囲気があつた中、クラスメイトと協力し一つのものを作り上げようと取り組むことができました。一度は延期されたが無事に行けた二年次の修学旅行、長い時間一緒に居たことで新たな一面を知ることができ充実していました。三年次は、それぞれが進路実現に力を入れ、周りの方々の支援のお陰で乗り越えることができました。その他にも、スポーツ大会や遠足などの各行事や目標に向けて精一杯取り組んだ部活動などとても濃い三年間を過ごしてきました。

高校三年間はあつという間と入学時言われていました。そんなこと無いただろうと思っていました。今となっては本当にあつという間でした。

元気で優しいクラスメイトや先生方、一番近くで支えてくれた家族があつてこそ、楽しく過ごすことができたと思ひ感謝しています。今後はそれぞれの道へと進んでいきます。ですが周りの方々への感謝の気持ちを忘れず三年間で学んだこと経験を生かしていきたいです。

## 「成長した私たち」

二本松実業高等学校東校舎



生徒会長  
三瓶 楓華

私たちの学校は、二本松実業高等学校に名が変わり二年が経ちました。二本松工業高等学校と統合し、安達東校舎には後輩が入つてこないため、寂しさを感じながら日々日常を過ごしてきました。

この三年間は、本当にあつという間でした。新型コロナウイルスの影響により、制限が沢山ありました。そんな中でも、私たちは元氣と笑顔を忘れず生活してきました。怒られたあの日、褒められたあの日、三年間の行事、いろいろな思い出がよみがえってきます。行事や授業を通し、地域との交流も増えました。地域の方々と沢山関わる上で、安達東校舎が無くなる悲しさを知りました。そこで、私たちにできることは何かないかを考え、地域の文化祭に参加し、安達東校舎のブースでは「蜜蝋ラップ」やゲームの景品として安達東高校時代の校章や制服のボタンを使い、「マグネット」を作成し、今までの感謝の気持ちを伝えることができました。他にも、老人会の方々とニューススポーツ交流会を行ったり、様々な活動をしてきました。

私たちは、三年間でとても成長したと思います。一人一人が周りを見て行動することができ、先生方にも信頼される生徒になりました。こんなに濃い三年間を過ごすことができました。のは、切磋琢磨しながら、共に学び、笑い、支え合ってきた仲間がいたからこそ、忘れられない高校生活を送ることができました。

卒業後、それぞれの道に進む私たちですがこの三年間で学んだこと、地域への感謝を忘れず、日々自分と向き合いながら生活していきます。同窓会の先輩の皆さま、どうか私たちを温かくご指導ください。

# 部活動紹介



サッカー部



バスケットボール部



野球部



柔道部



剣道部



弓道部



バドミントン部



卓球部



ソフトテニス部



カヌー部



陸上部



吹奏楽部



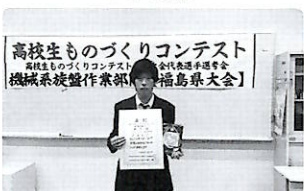
文芸部



コンピュータ部



美術部



ものづくりコンテスト (機械)



ものづくりコンテスト (情報)



ものづくりコンテスト (都市)

柔道部・演劇部・カヌー部への激励金交付式



第47回全国高等学校柔道選手権大会  
東北地区大会無差別級 安齋 結



第78回福島県高等学校  
演劇コンクール優秀賞第1席(2位)



令和6年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会準決勝進出

金型設計製作・金属プレス加工

量産 試作・板金加工・機械加工

有限会社 吾妻プレス工業

代表取締役 渡辺 隆

専務取締役 渡辺 大樹

〒969-1511

福島県二本松市下川崎字篠根坂山20番地

電話 (0243) 54-2301(代)

FAX (0243) 54-2303

E-mail: azumap@olive.ocn.ne.jp

URL http://azumap.info/

県知事許可(般-3第10676)

土木建築鉄筋工事一式請負

有限会社 安達鉄筋工業

一級技能士

代表取締役 伊藤 裕一

ふくしまから  
はじめよう!

福島県二本松市油井字舟橋17-4

TEL 0243-23-4968

FAX 0243-23-4970

E-mail: ma-glyefa-764483@dream.jp

## 令和6年度 進路状況

| 学科・クラス  | 生徒数   |    | 就 職   |     |     |      | 進 学   |      |       | 未定   |
|---------|-------|----|-------|-----|-----|------|-------|------|-------|------|
|         | 男子    | 女子 | 県 内   | 県 外 | 公務員 | 緑故自営 | 大 学   | 短期大学 | 専修学校等 |      |
| 機械システム科 | 32    | 0  | 24    | 4   |     |      |       |      | 4     |      |
| 情報システム科 | 28    | 5  | 17    | 5   | 1   |      | 2     | 1    | 7     |      |
| 都市システム科 | 18    | 1  | 11    | 3   | 2   |      |       |      | 2     | 1    |
| 総合学科1組  | 5     | 5  | 8     | 0   | 0   | 0    | 0     | 0    | 0     | 2    |
| 総合学科2組  | 5     | 5  | 3     | 1   | 0   | 0    | 1     | 0    | 2     | 3    |
| 合 計     | 88    | 16 | 63    | 13  | 3   | 0    | 3     | 1    | 15    | 6    |
|         | 計 (%) |    | 76.0% |     |     |      | 18.3% |      |       | 5.0% |

| 就職【県内】              |                        |                      |                         |
|---------------------|------------------------|----------------------|-------------------------|
| 株式会社菅澤建設            | 株式会社九や運送               | 東北オカヤ株式会社福島工場        | 奥越部品株式会社                |
| NOK エラストマー株式会社東北事業所 | 株式会社マルサン               | 福島産業株式会社             | 株式会社日本デジタル研究所           |
| 二本松 NOK 株式会社        | 菅野建設工業株式会社             | NITTOKU 株式会社         | 株式会社 松屋                 |
| 株式会社 IHI 物流産業システム   | 石橋建設工業株式会社             | 株式会社タカギセイコー東北工場      | 倉敷レーザー株式会社              |
| 東部ガス株式会社福島支社        | 大槻電設工業株式会社             | トヨタモビリティパーツ株式会社福島支社  | アサヒサンクリーン株式会社           |
| 三光化成株式会社福島工場        | パナソニックインダストリー株式会社郡山事業所 | AGC エレクトロニクス株式会社     | 株式会社 アダチ・プロテクノ          |
| 株式会社日東紡テクノ          | ルビコン株式会社福島事業所          | 前澤給装工業株式会社福島工場       | 株式会社 光警備保障 二本松支社        |
| 協三工業株式会社            | 株式会社長谷川建設              | 太平洋電気株式会社            | 株式会社 福島芝浦電子             |
| 株式会社福島芝浦電子          | 株式会社アマダオートメーションシステムズ   | 株式会社ヤクルト福島工場         | 株式会社ジャパンビューティプロダクツ      |
| 福島プラステックス株式会社       | アズビル金門エナジー プロダクツ株式会社   | アサヒ通信株式会社川俣工場        | 株式会社 玉嶋屋                |
| 福島キャノン株式会社          | 株式会社春日工業所本宮工場          | セコム株式会社              | 株式会社 田口型範 二本松工場         |
| 株式会社デンソー福島          | 株式会社野地組                | 東邦ゴム工業株式会社           | 目の丸サンプ株式会社 安達太良スカイレストラン |
| 株式会社小野工業所           | ALSOK 福島株式会社           | 北芝電機株式会社             |                         |
| 株式会社三万石販売コーポレーション   | マルナカ株式会社               | 東北電化工業株式会社           |                         |
| 株式会社アダチ・プロテクノ       | 福島トヨベツ株式会社             | 鬼怒川ゴム工業株式会社郡山車体部品製作部 |                         |

| 就職【県外】            |                   |                    |           |
|-------------------|-------------------|--------------------|-----------|
| 株式会社トヨタ自動車東日本宮城工場 | プレス工業株式会社         | 仙建工業株式会社           | 株式会社 明世建設 |
| 東北電力ネットワーク株式会社    | 株式会社 SUBARU 群馬製作所 | 株式会社ユアテック          |           |
| 東日本電気エンジニアリング株式会社 | 一般財団法人東北電気保安協会    | 東京電力リニューアブルパワー株式会社 |           |

| 公務員   |        |
|-------|--------|
| 福島県職員 | 二本松市職員 |

| 大学・短大 |            |
|-------|------------|
| 会津大学  | 仙台大学(体育学科) |
| 日本大学  |            |

| 専修学校等                     |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発校     | Wiz国際情報工科自動車大学校        |
| 福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校 | 国際アート&デザイン大学校          |
| 福島県立テクノアカデミー会津職業能力開発校     | アイメディカル医療専門学校          |
| 福島県農業総合センター農業短期大学校        | 福島医療専門学校               |
| 福島看護専門学校                  | 国際アート&デザイン大学校(ペット総合科)  |
| ケイセンビジネス公務員カレッジ           | 国際アート&デザイン大学校(ゲーム・CG科) |
| 郡山ヘアメイクカレッジ               |                        |

**E Tec** 株式会社 イーテック  
知事許可(股-21)第28473号

代表取締役 橋 本 栄 治

☑ 工事事務所  
〒969-1403 福島県二本松市洪川字原新田1-9  
TEL 0243-24-1995 FAX 0243-24-1996



心を込めて かたちづくり



**菅野建設工業株式会社**

代表取締役 菅 野 泰 助

本社／福島県本宮市長屋字征矢田6  
支店／福島・郡山・二本松・田村・川俣  
TEL 0243-44-2120(代) FAX 0243-44-4102



ホームページ QR

〈ISO9001 認証〉  
地域社会に貢献する



**川名建設工業株式会社**

代表取締役 橋谷田 邦 男

本 社／本宮市本宮字田中47-2 ☎(0243)33-2755  
田村支店／田村郡三春町字担橋2丁目1-13 ☎(0247)62-7864

## ❀ 安達東校舎が長年の役目を終える ❀



福島県立安達東高等学校の岩代・大平・針道の校舎を統合し昭和56年に建てられた。

産業技術科（旧農業科）・家政科・普通科の学び舎であった。

### 安達東校舎 .....

令和5年4月10日に、旧安達東高等学校と旧二本松工業高等学校の合併により二本松実業高等学校の安達東校舎として、総合学科（農業・家庭・福祉の3コース）の学び舎となっていたが、令和7年2月27日に2年間の役目を終える。



10月19日（土）  
安達東高等学校時代から続いた文化祭



12月20日（金）  
安達東高等学校時代から続いた百人一首カルタ大会



11月22日（金）  
災害時に備え、初めて非常時炊き出し訓練を行った

### 安達東高等学校の沿革

|         |                                                                    |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| S23.4   | 福島県立安達高等学校に小浜・大平・針道・石井・旭・渋川分校設置（農業科、家政科）                           |
| S27.4   | 渋川・石井・大平の分校を統合し、大平分校改称                                             |
| S28.4   | 小浜分校農業科を廃し、普通科を置く                                                  |
| S33.4   | 小浜、旭分校を統合し、岩代分校と改称                                                 |
| S48.5   | 県立安達高等学校岩代分校、大平分校、針道分校を安達高等学校より分離<br>安達東高等学校とし、岩代校舎、大平校舎、針道校舎として設立 |
| S52.4   | 全日制課程に転換                                                           |
| S55.3   | 岩代校舎、新校舎へ移転                                                        |
| S56.3   | 大平校舎、針道校舎を岩代新校舎に移転統合                                               |
| S57.11  | 創立10周年並びに統合校舎落成記念式典挙行                                              |
| H3.4    | 新制服制定                                                              |
| H4.10   | 創立20周年記念式典挙行                                                       |
| H9.4    | 総合学科設置・第1期生入学                                                      |
| H14.11  | 創立30周年記念式典挙行                                                       |
| R4.10   | 創立50周年記念式典挙行                                                       |
| R5.3    | 福島県立安達東高等学校閉校式                                                     |
| R5.4.10 | 福島県立二本松実業高等学校 開校式                                                  |
| R5.4.1  | 福島県立二本松実業高等学校同窓会 設立                                                |



平成28年に旧安達東高校に赴任してからもうすぐ9年が経とうとしています。この間創立50周年記念事業や学校統合に関する業務など大きなイベントがあり、同窓会事務局として大事な節目に立ち会えたことを嬉しく思っております。もうすぐ安達東校舎は閉校舎となりますが、この学び舎での様々な思い出や記憶がいつまでも同窓会員の皆様の心に残っていくことを願っております。

安達東校舎 同窓会担当 菅野 順



電気を元気にする会社

# 北芝電機株式会社

<https://www.kitashiba.co.jp>



北芝松工会 同窓生一同  
本社・工場 福島市松川町字天王原9番地

# 同窓生コラムリレー

## 『次世代に思いをよせて』



北芝電機株式会社  
総務部 加藤 優弘

時代の変化に対応する生き方をふと考えてみると、簡単にできるものが増えたことと反面、複雑になったことも増えたと感じる。その中で、どのような人生を送ることがよいのかを考えてみました。

人生の幸せはなんだろう？と思ったときに、今風にネットで検索してみたところ、ひとが幸せを最大限に感じることは、ひとのために行動することとありました。我を振り返ってみると、人の役に立ったとき、達成感も含め満足することが多々あったような気がします。

現在、高校生活を送っている方々は、それぞれの場面でいろいろな経験をされ、気持ちの置き場所を見失う時もあるかと思っています。そんなときは、自身を客観的にみて、自分はひとのために行動できているかを考えてみては如何でしょうか。また、これからの進路についてなかなか方向性を決めかねている方がいれば、自身を見つめ直して、幸せな人生を送るにはどのように進めばよいかを検索してはどうでしょうか。

時代の変化は常にあるもので、そのなかで幸せを感じて生きていくことがとても重要だと思います。

次に可能性と時間について考えてみました。なにかに挑戦しているとき、なにかに夢中になっているとき、時間が経つのが早いと感じます。人生においても同じことが言えると思います。自身がやりたいこと、成し遂げたいことに打ち込むとい

うことは、時間の感覚も大切だと思います。高校卒業後の人生について、時間軸も考慮しておくべきではないでしょうか。高校生活を送っている今、これからやりたいことと時間について少し考えてみて下さい。話の順番が反対になつてしましますが、可能性についても書きそえたいと思います。若い人は無限の可能性を秘めていると言われます。肯定、否定はしません。具体的に可能性とはなんでしょうか。やりたい「こと」、成し遂げたい「こと」が可能性という言葉の前に必要だと思えます。確りと見定め、これからの人生を進んでいただきたいと思っています。

みなさんが高校生活において、思い出に残る、楽しい生活を送られるよう祈念しております。

## プロフィール

◇昭和五十九年度 土木科卒業

## 『岩代地域での活動の思い出』



元二本松市役所  
岩代支所長  
佐久間 一郎

私は、昭和四十五年に入達高等学校岩代分校に入学し、四十八年には入達高等学校の三分校が独立し安達東高等学校が設立され、四十九年三月に第一期卒業生として社会へ羽ばたき、四月に岩代町役場に奉職しましたが、主に生活環境・保健福祉関係部署に配属され、私なりに岩代地域のため頑張つて参りましたが、特に退職まじかになった時に、東日本大震災

が発生し、地元対応と、浪江町から岩代の二箇所の体育館へ避難者を受け入れる際の責任者として対応に奔走したこと、その後、発生した初森地区のゲリラ豪雨による大規模土砂災害の対応で昼夜を問わず走り回ったことが、今も心に残っています。

現在は、趣味の野菜作りを楽しみながら、岩代地域の集落支援員として岩代支所に勤務しています。

私は、岩代で生まれ、高校まで岩代で学び、岩代地域に勤務し、岩代から外へ出たことのない人間ですが、今までの生涯を省みますと岩代地域のため、少しは役に立ったのではないかと自負しているところです。

さて、二本松実業高等学校開校までの両校の沿革については、同窓会会報第一号に掲載されている通りです。私は卒業時から同窓会役員として活動してまいりましたが、安達東高等学校も色々な変遷があり、特に平成九年には総合学科へ移行され、地域での活動も活発に行われ、各企業から評判も良く、就職氷河期の時も同窓会からの働き掛けもあり、百パーセントに近い就職率で推移したことが思い出として心に残っています。

役員退任前には、会長として十二年間務めさせていただき、会運営の大変さは身に染みて感じているところです。

在校生の皆さんも、旧二校の校風を引き継ぎながら、悔いのない学校生活を謳歌してください。また卒業後は、同窓会活動についてご理解いただき、母校発展のためにご協力をお願いいたします。

二本松実業高等学校同窓会は、令和五年からスタートしたばかりで運営に関しては何かと苦労されると思いますが、役員の皆様も、山川会長さんを中心に本校発展のために、励んでいただきたいと思

結びに、二本松実業高等学校並びに同窓会の益々のご繁栄・躍進をご祈念申し上げます。

## プロフィール

- ◇昭和四十八年度安達東高等学校普通科卒業
- ◇昭和四十九年 岩代町役場奉職
- ◇出身地 二本松市(西勝田)
- ◇趣味 名城・温泉めぐり・スケート
- ◇現職 二本松市岩代支所集落支援員

## ふるさと会「東京二本松会」の紹介

福島県立二本松実業高等学校同窓の皆様、貴会報の誌面をお借りして「東京二本松会」のご紹介をさせていただきます。

「東京二本松会」は、首都圏に在住する福島県二本松市出身者、縁故者、そして「東京二本松会」の目的に賛同する方々をもって構成するふるさと会で、『会員相互の親睦共栄』と『ふるさと二本松市の隆盛発展に寄与すること』を目的とします。

創立は昭和43年(1968年)、現在の7代目

会長は旧二本松藩丹羽家第18代当主丹羽長聰(にわながとし)が務めております。

主な活動と致しましては、年次総会・懇親会の開催、会報の発行、二本松市が首都圏で開催する観光物産展への参加、二本松産農産物の通信販売への協力、等を行っています。

現在の会員数は約100名で、勿論、会員には二本松実業高校OBの方々もいらっしゃいます。皆様の「東京二本松会」へのご入会を歓迎致します。

東京二本松会 幹事長 安藤勇夫  
電話：090-8301-1058  
Eメール：andoik@ybb.ne.jp

## 福島県立二本松実業高等学校同窓会



## 令和六年度同窓会総会について

五月中旬を予定しておりますが、詳細が決まり次第実業高校ホームページの同窓会メニューにて、お知らせさせていただきますので、多くの皆様には是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

## ホームページ開設について

現在、実業高校ホームページ内に同窓会メニューがございますが、令和八年度を目安に本会報誌同等に同窓会の状況や活動報告などの情報を同窓生の皆様と共有し、より良い同窓会活動に繋げていきたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

## 【協賛金のお願について】

同窓会皆様の相互補助、母校賛助、後輩育成支援等への熱意実現のため、「協賛金」を年次お願いしてまいりたいと存じます。つきましては、同窓会の皆様並びに有志各位におかれましては、出費多端の折から甚だ恐縮に存じますが、協賛金のご趣旨をご理解いただき、ご芳志を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

【振込先】大東銀行 二本松支店  
普通口座 3012171  
二本松実業高校同窓会 代表 山川博徳

## ◎会報名「榎戸の丘」について

同窓会役員にて慎重かつ厳正なる協議により決定させていただきました。また、表紙の会報名については、山川博徳会長に書いていただいた一筆になります。

## 編集後記

令和五年四月の統合から二年目を迎え、このたび会報第2号を発行させて頂きました。内容については、初刊会報同様に本会の活動報告や母校の近況、また同窓生のコラムや活躍する企業の紹介などを掲載させて頂きました。中でも今年二月二十七日をもって閉校いたしました安達東校舎の最後のイベントなどの特集を組ませて頂きました。

作成にあたりましては、事務局の先生方、同窓会員、協賛いただきました各企業様、その他原稿等ご提供をいただきました関係者の皆様方に深く御礼を申し上げます。今後、会報につきまして紙媒体から電子媒体に移行させていただく予定となっておりますので、当校のホームページに掲載予定でございますので、どうぞご期待下さい。

事務局  
会報委員長 鈴木 朝裕  
副委員長 鈴木 安久  
委員 渡邊 三浦 喜春 安久  
大内 三浦 喜春 安久  
安達 龍一 井上 博行  
三浦 鈴野 菅野 大内  
優大 健太 正勝

次世代を創造する技術と信頼で社会資本整備に貢献します。



- ◇測量全般
- ◇土木設計
- ◇3次元計測
- ◇インフラ点検
- ◇地質土質調査
- ◇開発許可申請



## 株式会社 東昇コンサルタント

代表取締役 鈴木 朝裕

本社 / 〒964-0905 福島県二本松市松岡199番地10  
TEL(0243)24-7111 FAX(0243)24-7117  
郡山営業所 / 〒963-8061 郡山市富久山町福原字舟橋97-1  
TEL(024)991-6622 FAX(024)933-6677



有限会社 ディップス  
建設業許可 福島県知事 第28284号

- ・屋内外看板
- ・各種塗装工事
- ・鋼構造物工事

代表取締役 山口好時

職業訓練指導員免許  
一級建築塗装技能士  
一級鋼橋塗装技能士

〒964-0315 福島県二本松市成田字田畑内146  
TEL: 0243-55-3310 FAX: 0243-55-2921  
携帯電話 090-7528-1011  
E-mail dips-yamaguchi@muc.biglobe.ne.jp

Life<sup>3</sup>  
LIFE CUBE INC.

代表取締役 鈴木 新栄

ライフキューブ株式会社

〒963-8835 福島県郡山市小原3丁目218-1  
Tel.024-983-1520 Fax.024-983-1521  
E-mail:fp.sodan@jinsei100lifecube.com

【取扱保険会社】

あいおいニッセイ同和損害保険㈱  
三井住友海上あいおい生命保険㈱  
ソニー生命保険㈱  
メットライフ生命保険㈱

HPIはこちら

株式会社 野地組  
Inter Déco Haus 福島

〒969-1404 福島県二本松市油井字赤坂山27  
tel 0243-23-0131 fax 0243-23-1296  
URL www.nojigumi.net

CONSTRUCTION COMPANY

NOJIGUMI

